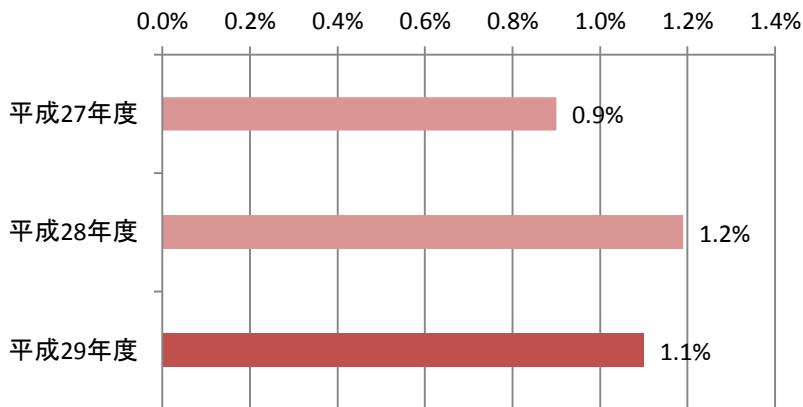


9-2 新規褥瘡発生率



■ 解説

褥瘡(床ずれ)とは、体重の集中する部位の骨と寝具に挟まれた皮膚組織や皮下脂肪や筋肉が圧迫され、血の流れが悪くなり、皮膚やその下にある組織が死んでしまう外傷をいいます。そこで、褥瘡の発生を少しでも阻止できるように、毎月発生の件数を調査しています。調査月に褥瘡を保有する入院患者数から入院時すでに褥瘡を保有していた患者数を引いたものを、調査月最終日の入院患者数で割り、100をかけると褥瘡発生率となります。当院では褥瘡委員を中心に、褥瘡の発生予防・早期発見・早期治療に努めており、褥瘡発生率は低値となっています。

算式

【褥瘡発生率】 (分子/分母) × 100

分子: 当該月の新規褥瘡発生患者数(入院後に発生した褥瘡の数)

分母: 当該月の実入院患者数(前月末日の在院患者数 + 当該月新規入院患者数)

単位

%

期間

年間

	新規褥瘡発生率
平成27年度	0.9%
平成28年度	1.2%
平成29年度	1.1%